

高速バス利用者のための駐車場の整備並びに バスターミナルの建設について（継続）

現在、J R 桐生駅南口から発着する高速バスは、名古屋・奈良・京都・大阪行きと羽田空港行きが運行され、3月からは大阪市にあるユニバーサルスタジオに乗り入れが開始されるなど、高速バスは桐生市民の貴重な交通手段であり、コロナ禍からの回復もあって利用者の増加が見込まれます。

今後、増々の利用客の利便性を図ると同時に利用者の増加にもつながることから次の通り要望いたします。

- ① J R 桐生駅付近に高速バス利用者のための駐車場を早急に整備。
- ② 市内のバス運行ルート上にバスターミナルの建設を検討。
- ③ J R 桐生駅南口からの乗車者に対する駐車料金の助成。

桐生市からの回答

高速バスの停留所がある J R 桐生駅周辺の駐車場は、南口及び北口付近のコインパーキングの他、民間が設置している駐車場が複数あり、通常満車状態はなく常時利用できる状況にあります。従いまして、現在の状況で、駅付近に高速バス利用者のための駐車場を整備する必要性は低いものと考えております。

次に、バスターミナルの建設につきましては、既存の J R 桐生駅南口停留所は鉄道とおりひめバスの結節点であり、タクシーの待機所も整備されていることや、観光案内所、トイレ、アーケードなど、周辺施設の環境と人の流れの面からも、高速バスの拠点として適した場所と言えますが、ご提案の市内のバス運行ルート上への建設は、駐車場用途を含む広大な用地の確保と建設整備費などに大きな課題があります。

また、J R 桐生駅南口からの高速バス乗車者に対する駐車料金の助成については、他の目的による駐車場利用者との公平性の観点から、難しいものと考えます。

いずれにいたしましても、本市の広域幹線交通として大変重要な役割を担っている鉄道の利用促進も考慮し、総合的な視点から考える必要がありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

〔回答担当〕 共創企画部交通ビジョン推進室交通ビジョン推進担当